



# 理論学びロケット飛ばす

## 松本秀峰 NASA教材で特別講座

松本秀峰中等教育学校は9日、松本市新村の松本大学で「ロケット工学特別講座」を開いた。希望した13年生15人が米航空宇宙局(NASA)が教材用に作った長さ30センチ、直径2.5センチの火薬ロケット「モデルロケットアルファIII」を組み立て、打ち上げた。

ドに出て自分で組み立てたモデルロケットを打ち上げた。独立行政法人・科学技術振興機構(埼玉)の講座型学習支援「発射準備よし、抵抗飛行物体なし」と確認、発射ボタンを押し、ロケットは時速180キロで高さ70メートルまで打ち上がり、生徒たちは歓声を上げた。2年生の水木陽菜さん(13)は「難しいが好きなことだから楽しい」と話していた。(片岡 望)

NPO法人日本モデルロケット協会(埼玉)の山田誠会長が講師を務めた。講義室で基本的なロケット工学を学んだ後、グラウン

組み立てたモデルロケットを打ち上げる生徒たち